

パターン配本はありません。希望する部数での事前指定をお願いします（新刊ライン不使用）。

暮らし・土木 ご担当様

2025年12月中旬 取次搬入予定

安房大神宮の森コモンプロジェクト [編] 『大神宮の森へ 1』 2025年秋冬

房総半島最南端にある約55haの「安房大神宮の森」を整備し再生する活動を紹介しながら、古の人の営みの知恵を知り、森や海、土や木や水とともに生きる楽しさと面白さを発掘する。さまざまな分野の執筆者による多彩な文章も収録。

地球守・有機土木協会（代表理事・高田宏臣 [安房大神宮の森コモンプロジェクト主宰]）の広報誌も兼ね、地域の環境上の要となる場所（コモンズ）の守り方や、継いでいくために大事な「土中環境」の視点と、具体的な方法である「有機土木」も紹介する。

執筆者(1号)

高田宏臣 / 愛沢伸雄 (NPO 法人安房文化遺産フォーラム共同代表) / 池田恵美子 (NPO 法人安房文化遺産フォーラム共同代表) / 伊沢正名 (農士師) / 鴻池朋子 (アーティスト) / 込山敏郎 (サンドカフェ店主) / 小森はるか (映像作家) / 佐藤良明 (翻訳家・エッセイスト) / 中島岳志 (政治学) / 中村桂子 (生命誌研究) / 前田宣明 (北条文庫店主)



創刊

土地に根ざした暮らしのための雑誌

年2回刊行「春夏・秋冬」

A5判 並製 176頁 (カラー136頁) 本体2,500円
(本体価格の内1,000円はプロジェクトの活動支援に充てられます)

シリーズも創刊 有機土木ライブラリー

有機土木ライブラリー1

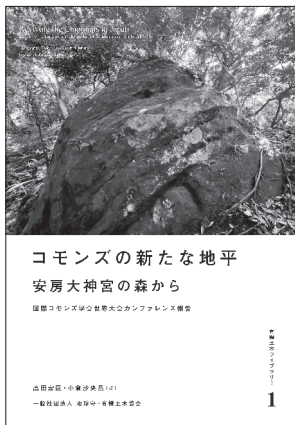
『コモンズの新たな地平——安房大神宮の森から』

国際コモンズ学会世界大会カンファレンス報告

高田宏臣・小倉沙央里 [著]

安房大神宮の森をもとに、森と海の関係、御神体としての磐座の意義、山の尾根筋から水源をとる知恵等、古の人の造作や工夫を知り、コモンズ(共有財産)をつなぐ方法を探る。平易な語りに英訳を併記、オールカラー、図版40点。

発行：地球守・有機土木協会 発売：羽鳥書店
A4判 並製 56頁 本体2,000円



高田宏臣 (たかだひろおみ)

(一社)地球守・有機土木協会代表理事、(株)高田造園設計事務所代表取締役。1969年生まれ。東京農工大学農学部林学科卒業。国内外での造園・土木設計施工ののち、現在は土中環境の健全化、水と空気の健全な循環の視点から住宅地、里山、奥山、保安林などの環境改善と再生の手法を提案、指導する。大地の通気浸透性に配慮した伝統的な暮らしの知恵や土木造作の意義を広める活動を各地で行っている。著書に『これからの雑木の庭』(主婦の友社)、『土中環境——忘れられた共生のまなざし、蘇る古の技』(建築資料研究社)、『よく分かる土中環境』(パルコ出版)など。

羽鳥書店

東京都文京区千駄木 5-49-2 ベガハウスミタケ 305 〒113-0022
TEL 03-3823-9320 [担当：矢吹]

FAX 03-3823-9321

番線印	書名	著者	本体	ISBN Cコード	冊数
新刊	大神宮の森へ1	安房大神宮の森 コモンプロジェクト [編]	2,500円	978-4-904702-94-9 C0051	
	有機土木ライブラリー1 コモンズの新たな地平	高田宏臣・ 小倉沙央里	2,000円	978-4-904702-93-2 C2051	
★同時に取次搬入します。					
ご担当者名	配本の都合上12月10日までにご返信くださるようお願いします。 【取次】日販・楽天BN・八木書店・大学図書 *トーハン他にも納品します。(返条付注文扱)				